

麻しん（はしか）の感染

に注意しましょう！

現在、沖縄県及び各地において麻しんが流行しています。今後広域的に発生するおそれがあるため、感染拡大防止のため、麻しんに対する予防と対策をしっかりと行いましょう！

なぜ恐れられているのか

① 感染力の強さ

麻しんは空気中に漂っているウイルスを吸い込むだけでも感染します。その感染力はインフルエンザウイルスの10倍以上とも言われています。

② 合併症の存在

麻しんにかかると肺炎や脳炎といった重篤な疾患にも同時にかかる頻度が高くなります。また、医療が発達した現在でも麻しんに対する特效薬はありません。

どんな症状が起きるの？

① 潜伏期

ウイルスが体内に侵入し、増殖します。この間はまだ無症状です。期間は

10日から12日間です。

② 風邪のような症状

潜伏期の後、発熱、咳、喉の痛み、めやになどの症状が4〜5日間続きます。またこの時期は麻しんの特徴的な症状がないので風邪と診断されることもよくあります。

③ 麻しんの症状が出現

口の中の奥歯のすぐ横に白いぶつぶつができます。（コプリック斑）また、体中に赤いぶつぶつができます。その間も発熱、咳等の症状は続きます。

予防策イコール予防接種

麻しんにかからないようにするためには、予防接種を受けることが最も効果的です。予防接種による免疫は、接種後1週間ほど持続することができます。



コプリック斑(上) 体中の発疹(下)



麻しんの免疫を持っていますか？

